

■主な修正事項

| 番号 | 項目 | パブリックコメント時 | | 更新後 | | 摘要 | 備考 |
|----|-----------------------------------|----------------|--------------------------------------|----------------|--|-------|-----------|
| | | ページ | 内容 | ページ | 内容 | | |
| 1 | (3) 市の動向 | 5 | 基本方針の策定について記載 | 5 | 柏市の状況を追記 | 文言追加 | パブリックコメント |
| 2 | 4(1) 柏市で育む“学ぶ力” | 10 | …「生きる力」であると捉えています。 | 10 | …「生きる力 ¹⁰ 」であると捉えています。 | 注釈追加 | パブリックコメント |
| 3 | 1(1) 取組一覧 取組13-2 | 19 55 | 教室のICT環境整備の推進 教室のICT環境の整備・推進 | 19 55 | 教室のICT環境の整備 | 文言統一 | |
| 4 | 1(1) 取組一覧 取組17-2 (再掲)取組17-2 | 19 62 63 | 朝の児童の居場所づくりの検討 朝の児童預かり事業の推進 同上 | 19 62 63 | 朝の児童の居場所づくり | 文言統一 | |
| 5 | 施策6 | 38 | また、児童虐待やヤングケアラー等が増加傾向にあります。 | 38 | また、児童虐待やヤングケアラー等への対応について、社会的な関心が高まっています。 | 文言修正 | |
| 6 | 施策10 現状と課題 | 47 | 全国的にも、採用倍率の低下や教師不足といった課題が生じており、 | 47 | 全国的にも、採用倍率の低下や教師不足、療養休職者の増加といった課題が生じており、 | 文言修正 | パブリックコメント |
| 7 | 図表5 | 70 | 柏市で育む4つの力 | 71 | 柏市で育む4つの力(見直し前後での項目の比較) | 図表の差替 | |
| 8 | 図表14 | 74 | 不登校児童生徒数の推移 | 76 | 不登校の定義を記載 | 文言追加 | パブリックコメント |
| 9 | 図表20,21 | 78 | 在校等時間45時間超の割合 教職員の子どもに向き合う時間 | 80 | 「作成中」としていたものを更新 | 図表の差替 | |
| 10 | 図表24 | 81 | 市立学校施設の概要 | 83 | 「市立学校施設の概要」差替 | 図表の差替 | パブリックコメント |
| 11 | 図表25 | 82 | 児童生徒数の長期推計 | 84 | 市全体及び地域ごとの増減見込みを追記 | 文言追加 | パブリックコメント |
| 12 | パブリックコメント | 113 | パブリックコメントの結果 | 115 | 結果の概要を掲載 | 追加 | |

■指標の修正

- 「調査中」としていた指標について調査結果を踏まえて設定
- 基準値・目標値を「-」としていた指標について数値の設定、及び基準値・目標値の見直し
- 数値で示すことができない指標については指標の変更を検討

| 番号 | 項目 | ページ | 指標(変更前) | 指標(変更後) | 基準値 | 目標値 |
|----|----------------|----------|--|------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 基本目標1 | 22 | 子どもたちに身に付けてほしい4つの力 ※「対話」は自他と対話する力、「大切」は自他を大切にできる力、「学ぶ」は学び続ける力、「挑戦」はよりよくしようと挑戦する力を指しています | 変更なし | 対話3.26 大切3.24 学ぶ3.07 挑戦3.20 | 対話3.3 大切3.3 学ぶ3.3 挑戦3.3 |
| 2 | 基本目標1 | 22 | 市費会計年度任用職員の配置についての満足度 | 変更なし | 95.6% | 100% |
| 3 | 取組1-2 | 23 | 探究的な学びを実践している学校数 | 探究的な学びを実践している学校の割合 | 小95.2% 中90.4% | 小100% 中100% |
| 4 | 取組1-6 | 25 | 専門職員の配置人数 | 教育専門アドバイザーや指導主事による専門職員への訪問支援回数 | 291回 | 年440回 |
| 5 | 取組3-4 | 31 | インターンシップの参加人数 | インターンシップの参加希望人数 | 24人 | 年30人 |
| 6 | 基本目標2 | 33 | 幼保こいの接続段階がフェーズ3の実施 | 変更なし | 0校 | 42校 |
| 7 | 基本目標2 | 33 | 小1プロブレムの解消率 | 「学校が好き」と回答した小学1年生の割合 | 91% | 92% |
| 8 | 取組4-2 | 34 | 対応に向けた検討回数 | 事業の周知・説明回数 | 4回 | 年4回 |
| 9 | 取組5-1 | 36 | 小学校が柏市版架け橋期カリキュラム共通シートを活用して園との連携を行った最低回数 | 変更なし | 1回 | 年2回 |
| 10 | 基本目標3 | 37 | いじめの解消率 | 前年度分のいじめ解消率 | 98.6% | 100% |
| 11 | 取組6-1 | 38 | 特別支援教育に関する校内研修を実施した学校数 | 変更なし | 53校 | 63校 |
| 12 | 取組6-5 取組7-3 | 40 41 | スクールソーシャルワーカーによる対応ケース数 | スクールソーシャルワーカーの配置人数 | 18人 | 23人 |
| 13 | 取組7-2 | 41 | 教育支援センターによる家庭訪問実施回数 | 教育支援センターによる家庭訪問により本人と面会できるようになった割合 | 75% | 100% |
| 14 | 取組8-2 | 43 | いじめの認知件数 | いじめ解消率 | 64.8% | 100% |
| 15 | 取組8-3 | 43 | 生徒指導主任研修の参加者数 | 生徒指導主任研修の開催回数 | 4回 | 年4回 |
| 16 | 取組8-4 | 44 | 出前授業の実施回数 | 変更なし | 107回 | 年189回 (年3回/校) |
| 17 | 基本目標4 | 46 | 「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合 | 変更なし | 83.6% | 100% |
| 18 | | | 「子どもと向き合うことができる時間が確保されている」と感じている教職員の割合 | 変更なし | 62% | 70% |
| 19 | | | 研修の理解度「研修内容について理解できた」(4段階調査) | 変更なし | 3.69 | 3.7 |
| 20 | | | 研修の有用度「研修での学びが、自分の仕事で活用できる」(4段階調査) | 変更なし | 3.68 | 3.7 |
| 21 | | | 研修の実践度「研修での学びを仕事で活用(実践)できた」 | 変更なし | 88% | 88% |
| 22 | 取組10-1 | 47 | 中学校区で連携した働き方改革の実施率 | 変更なし | 15% | 50% |
| 23 | 取組10-4 | 48 | 電話対応業務の体制強化に向けた見直しの実施 | 電話対応業務の体制を強化した学校数 | 0校 | 52校 |
| 24 | 取組11-1 | 49 | 研修の運営評価の平均値(5段階調査) | 変更なし | 4.63 | 4.65 |
| 25 | 取組12-1 | 51 | 海外姉妹校との活動回数 | 変更なし | 72回 | 年72回 |
| 26 | 取組12-2 | 52 | 生徒のICT活用状況 | 生徒の1日当たりのICT活用の状況 | 3.5時間 | 4.5時間 |
| 27 | 取組13-1 | 54 | ①校舎大規模改修工事の着手数 ②屋内運動場長寿命化改良工事の着手数 | 変更なし | ①0校 ②0校 | ①12校 ②10校 |
| 28 | 取組14-1 | 56 | 対応に向けた検討回数 | 学校の在り方に関する視察回数 | 3回 | 年3回 |
| 29 | 取組14-2 | 57 | 対応に向けた検討回数 | 基準日(5.1)時点での教室不足発生校数 | 1校 | 年0校 |
| 30 | 取組15-1 | 58 | 計画期間内に整備に着手する施設数 | 変更なし | 0件 | 4件 |
| 31 | 取組17-1 | 61 | アフタースクール事業実施校数 | 変更なし | 0校 | 42校 |
| 32 | 取組17-2 | 62 63 | 「朝の児童預かり事業」の実施校数 | 「朝の児童の居場所づくり事業」の実施校数 | 0校 | 21校 |

■その他軽微な修正

- ・英数字の全角, 半角修正
- ・参照ページの修正
- ・図表番号の修正
- ・記載趣旨に影響のない文言修正(語尾の統一等)